



2023年10月27日

各 位

会社名 株式会社 グ ッ ピ ー ズ  
代表者名 代表取締役 肥田 義光  
(コード番号: 5127 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 清水 瞬  
(TEL. 03-5908-3880)

(訂正・数値データ訂正)

「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」一部訂正について

当社は、2023年10月13日15時に発表した表記開示資料について訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の公表後に、税額計算上考慮すべき税金の一部が税額計算の際に漏れていたことが判明したことから、2023年8月期貸借対照表の「未払法人税等」及び損益計算書の「法人税、住民税及び事業税」の金額を訂正するものであります。またそれに伴い貸借対照表の「純資産合計」及び損益計算書の「当期純利益」等の金額を訂正するものであります。

2. 訂正の内容

主な修正金額はこちらです。いずれも2023年8月期の金額の修正です。

	修正前	修正後
未払法人税等(千円)	132,741	177,169
法人税、住民税及び事業税(千円)	181,878	226,306
純資産合計(千円)	2,095,662	2,051,233
当期純利益(千円)	466,482	422,054
自己資本比率(%)	72.9	71.3

訂正内容については訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



## 2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月13日  
東

上場会社名 株式会社グッピーズ 上場取引所  
 コード番号 5127 URL <http://www.guppy.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肥田 義光  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 瞬 (TEL) 03-5908-3880  
 定時株主総会開催予定日 2023年11月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年8月期の業績(2022年9月1日~2023年8月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	2,395	29.4	653	39.0	650	34.3	422	23.3
2022年8月期	1,850	32.5	470	54.5	484	59.1	342	48.9

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	120.24	112.60	29.3	29.7	27.3
2022年8月期	114.09	—	49.9	36.7	25.4

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 ー百万円 2022年8月期 ー百万円

- (注) 1. 当社株式は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2022年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載していません。
2. 当社は、2022年6月8日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 当社は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	2,875	2,051	71.3	564.65
2022年8月期	1,509	832	55.2	277.56

(参考) 自己資本 2023年8月期 2,051百万円 2022年8月期 832百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	503	△84	778	2,305
2022年8月期	434	△51	△46	1,108

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	2,874	20.0	879	34.6	879	35.1	615	45.9	円 銭 169.47

（注）2024年8月期（予想）の1株当たり当期純利益は、2023年8月期末の発行済株式数（自己株式除く）で除して算出しております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期	3,632,800株	2022年8月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期	26株	2022年8月期	—株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	3,510,206株	2022年8月期	3,000,000株

（注）当社は2022年6月8日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。そのため2022年8月期の期首に該当株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2023年5月8日から「5類感染症」に変更され、今後の経済活動活性化への動きがみられた一方で、ロシア・ウクライナ情勢による地政学リスクや原材料価格の高騰、世界的な金融資本市場の変動の影響、円安の進行や物価上昇等により、先行きが不透明な状況が続いておりました。

このような経済環境の中においても、当社の注力市場である医療・介護・福祉業界におきましては依然として人手不足が大きな課題になっており、厚生労働省が発表した2023年度8月の有効求人倍率は、医療・介護・福祉業界が2.31倍と全職業合計の有効求人倍率1.28倍を大きく上回っております。

当社では医療・介護・福祉分野の医療従事者の不足や偏在、また、介護事業者・介護従事者の不足を解消するため、医療提供機関、医療従事者の良きパートナーとなり、人材サービスをベースにした経営サポートを行うなど、新たなサービスの開発にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高は2,395,113千円（前期比29.4%増）、営業利益は653,800千円（前期比39.0%増）、経常利益は650,995千円（前期比34.3%増）となり、当期純利益は422,054千円（前期比23.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 人材サービス事業

医療・介護・福祉業界における主に有資格者に対応した求人サイト「GUPPY」において、中途転職者においては求人広告事業、就職新卒者においては国家試験過去問アプリの提供、求人広告、就職情報誌、また求職者全体への就職合同説明会などを展開し、国家試験対策から就職活動、転職までのサポートを提供しております。特に中途転職の求人広告において、医療・介護・福祉業界の人材不足の影響もあり掲載数の増加となりました。また新卒向けにも営業を強化するとともにサイトの利便性向上を進め、求職者・求人者双方の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,194,227千円（前期比32.9%増）、セグメント利益は1,017,101千円（前期比35.0%増）となりました。

#### ② ヘルスケア事業

スマートフォンによる健康アプリ「グッピーヘルスケア」において、展示会への出展や企業へのダイレクトメールなどを発送し、認知度・信頼性の向上に努め、企業への利用促進を促してきました。一般利用者向けは無料で利用ができ、利用登録者は堅調に推移しております。一方企業向けには、3段階でのサービス利用料金でサービスを提供し、自治体、健康保険組合向けには、事業特性にあわせた料金でのサービス提供に努めておりました。

以上の結果、売上高は200,885千円（前期比0.9%増）、セグメント損失は69,520千円（前期はセグメント損失は69,699千円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 流動資産

当事業年度末における流動資産は2,613,443千円と前事業年度末比1,272,667千円増加しました。これは主に当期純利益の計上及び増資に伴う現金及び預金1,197,538千円の増加、売上の増加に伴う売掛金63,884千円の増加によるものであります。

#### ② 固定資産

当事業年度末における固定資産は261,756千円と前事業年度末比93,128千円増加しました。これは主にスマートフォンによる健康アプリ「グッピーヘルスケア」の追加開発及び歯科医院の検索&予約サービス「歯科医院の窓口」の開発等に伴うソフトウェア及びソフトウェア仮勘定61,313千円の増加、オフィス増床に伴う敷金14,646千円の増加及び建物付属設備17,169千円の増加によるものであります。

以上の結果、当事業年度末の総資産は2,875,199千円となり、前事業年度末比1,365,795千円増加しました。

## ③ 流動負債

当事業年度末における流動負債は789,733千円と前事業年度末比138,848千円増加しました。これは主にオフィス増床による設備費用計上等に伴う未払金47,382千円の増加、未払法人税等92,776千円の増加によるものであります。

## ④ 固定負債

当事業年度末における固定負債は34,232千円と前事業年度末比8,377千円増加しました。これは主にオフィス増床に伴う資産除去債務7,678千円の増加によるものであります。

以上の結果、当事業年度末の負債合計は823,965千円となり、前事業年度末比147,226千円増加しました。

## ⑤ 純資産

当事業年度末における純資産は2,051,233千円と前事業年度末比1,218,568千円増加しました。これは主に増資に伴う資本金398,290千円の増加、資本剰余金398,290千円の増加、当期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金422,057千円の増加によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して1,197,538千円増加し、2,305,906千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は503,053千円(前年同期は434,256千円の資金の獲得)となりました。これは主に減少要因として法人税等の支払額150,863千円(前年同期は142,870千円)があった一方で、増加要因として税引前当期純利益650,995千円(前年同期は484,579千円)があったことによるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は84,161千円(前年同期は51,002千円の資金の支出)となりました。これは主に減少要因としてソフトウェアの取得による支出67,268千円(前年同期は10,213千円の支出)、敷金及び保証金の差入による支出14,687千円(前年同期は24,632千円の資金の支出)があったことによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は778,646千円(前年同期は46,437千円の資金の支出)となりました。これは主に増加要因として株式の発行による収入796,581千円(前年同期は発生なし)があったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症について「5類感染症」への移行により、経済活動の回復が見込まれる一方で、ウクライナ情勢等の地政学リスクや円高進行、物価上昇等により不透明な状況は続くと思われ、一方で「(1) 当期の経営成績の概況」に記載の通り、当社の主力市場である医療・介護・福祉業界の人手不足は継続しており、今後も求人者の需要は堅調に推移するものと判断しております。

このような環境の中で、当社は人材サービス事業、ヘルスケア事業の両事業について、以下のとおり取り組みを行ってまいります。

##### ① 人材サービス事業

人材サービス事業については、求人サイト「GUPPY求人」及び「GUPPY新卒」において、首都圏における歯科医院への浸透率は高い一方で、地方都市への浸透率が課題となっております。ターゲットを拡大し、インサイドセールスや対面チャネルを強化することで、地方都市への浸透率を向上させ求職者の獲得に努めております。また歯科医院の検索&予約サービス「歯科医院の窓口」において、歯科医院の強みや患者の症状に基づく検索機能、予約サービスなどを展開し、様々なニーズに応えるとともに各種集患サービスの拡充を進めております。

##### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業については、スマートフォンによる健康アプリ「グッピーヘルスケア」において、顧客拡大と顧客単価の向上に努めて参ります。顧客の拡大にあたっては無料で参加できるウォークラリーイベントの開催に加え、顧客のターゲットを明確化し健康意識が高い企業や大手企業中心に新規開拓を進めております。また価格体系を見直し、オプションプランを拡充することで、各企業のニーズに合ったプランを提供に努め単価向上を目指しております。

以上を踏まえ、2024年8月期につきましては、売上高は2,874,658千円（前期比20.0%増）、営業利益は879,941千円（前期比34.6%増）、経常利益は879,498千円（前期比35.1%増）、当期純利益は615,649千円（前期比45.9%増）と増収増益を見込んでおります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しております。

なお、将来のIFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,111,370	2,308,909
売掛金	209,418	273,302
貯蔵品	6,395	5,959
前渡金	636	451
前払費用	13,033	25,363
その他	50	69
貸倒引当金	△128	△612
流動資産合計	1,340,775	2,613,443
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	38,779	55,948
工具、器具及び備品	20,193	28,868
リース資産	6,500	6,500
減価償却累計額	△11,121	△17,112
有形固定資産合計	54,352	74,205
無形固定資産		
ソフトウェア	—	42,173
ソフトウェア仮勘定	10,300	29,440
その他	52	52
無形固定資産合計	10,352	71,666
投資その他の資産		
破産更生債権等	0	110
長期前払費用	49	—
繰延税金資産	79,061	76,427
その他	24,813	39,457
貸倒引当金	—	△110
投資その他の資産合計	103,923	115,884
固定資産合計	168,628	261,756
資産合計	1,509,404	2,875,199



(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	16,710	1,854
リース債務	1,043	1,065
未払金	108,719	156,101
未払費用	70,353	55,966
未払法人税等	84,393	177,169
契約負債	310,452	292,255
預り金	2,998	4,379
褒賞費用引当金	12,441	31,733
賞与引当金	10,241	12,961
その他	33,531	56,247
流動負債合計	650,884	789,733
固定負債		
長期借入金	1,854	—
リース債務	4,688	3,622
健康ポイント引当金	4,771	8,390
資産除去債務	14,540	22,218
固定負債合計	25,854	34,232
負債合計	676,739	823,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	428,290
資本剰余金		
資本準備金	—	398,290
資本剰余金合計	—	398,290
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	802,665	1,224,720
利益剰余金合計	802,665	1,224,720
自己株式	—	△67
株主資本合計	832,665	2,051,233
純資産合計	832,665	2,051,233
負債純資産合計	1,509,404	2,875,199

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,850,489	2,395,113
売上原価	123,767	133,787
売上総利益	1,726,722	2,261,325
販売費及び一般管理費	1,256,326	1,607,524
営業利益	470,395	653,800
営業外収益		
受取利息配当金	8	19
保険解約返戻金	14,760	—
受取返戻金	392	257
雑収入	3	1
営業外収益合計	15,164	278
営業外費用		
支払利息	772	731
固定資産除却損	207	605
株式交付費	—	1,746
営業外費用合計	979	3,083
経常利益	484,579	650,995
税引前当期純利益	484,579	650,995
法人税、住民税及び事業税	132,941	226,306
法人税等調整額	9,361	2,633
法人税等合計	142,303	228,940
当期純利益	342,276	422,054

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,000	—	—	509,788	509,788	—	539,788	539,788
会計方針の変更による累積的影響額				△49,399	△49,399		△49,399	△49,399
会計方針の変更を反映した当期首残高	30,000	—	—	460,389	460,389	—	490,389	490,389
当期変動額								
新株の発行							—	—
当期純利益				342,276	342,276		342,276	342,276
自己株式の取得							—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								—
当期変動額合計	—	—	—	342,276	342,276	—	342,276	342,276
当期末残高	30,000	—	—	802,665	802,665	—	832,665	832,665

当事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	30,000	—	—	802,665	802,665	—	832,665	832,665
会計方針の変更による累積的影響額							—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	30,000	—	—	802,665	802,665	—	832,665	832,665
当期変動額								
新株の発行	398,290	398,290	398,290				796,581	796,581
当期純利益				422,054	422,054		422,054	422,054
自己株式の取得						△67	△67	△67
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								—
当期変動額合計	398,290	398,290	398,290	422,054	422,054	△67	1,218,568	1,218,568
当期末残高	428,290	398,290	398,290	1,224,720	1,224,720	△67	2,051,233	2,051,233

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	484,579	650,995
減価償却費	41,250	14,731
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△426	594
褒賞費用引当金の増減額 (△は減少)	4,479	19,292
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,854	2,719
健康ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,959	3,619
固定資産除却損	207	605
受取利息及び受取配当金	△8	△19
支払利息	772	731
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,027	△63,994
棚卸資産の増減額 (△は増加)	951	435
未払金の増減額 (△は減少)	△17,410	28,127
未払費用の増減額 (△は減少)	32,093	△14,387
契約負債の増減額 (△は減少)	47,180	△18,197
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,820	21,328
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	17,332
その他	3,952	△9,476
小計	577,587	654,438
利息及び配当金の受取額	8	19
利息の支払額	△468	△540
法人税等の支払額	△142,870	△150,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	434,256	503,053
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,194	△2,248
ソフトウェアの取得による支出	△10,213	△67,268
資産除去債務の履行による支出	△6,500	—
敷金及び保証金の差入による支出	△24,632	△14,687
敷金及び保証金の回収による収入	27,537	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,002	△84,161
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	50,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△672	△1,156
長期借入金の返済による支出	△45,765	△16,710
株式の発行による収入	—	796,581
自己株式の取得による支出	—	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,437	778,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	336,816	1,197,538
現金及び現金同等物の期首残高	771,550	1,108,367
現金及び現金同等物の期末残高	1,108,367	2,305,906

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は特にありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、「人材サービス事業」及び「ヘルスケア事業」の2つを報告セグメントとしております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「人材サービス事業」は、医療・介護・福祉業界に特化した求人情報サイト「GUPPY」を運営しております。求人情報サイト「GUPPY」は中途転職者向けに求人情報を提供する「GUPPY求人」と新卒学生向けに就職情報を提供する「GUPPY新卒」から構成されております。

「ヘルスケア事業」は、一般利用者向け、企業、自治体、及び健康保険組合向けにスマートフォンによる健康管理アプリを提供しております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。なお、事業セグメントに直接賦課できないものについては事業セグメントに関連する人員数等を基準として配賦しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 3
	人材サービス 事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,651,427	199,061	1,850,489	—	1,850,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,651,427	199,061	1,850,489	—	1,850,489
セグメント利益 または損失(△)	753,274	△69,699	683,575	△213,180	470,395
その他の項目					
減価償却費	6,514	28,106	34,621	6,629	41,250

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△213,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 3
	人材サービス 事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,194,227	200,885	2,395,113	—	2,395,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,194,227	200,885	2,395,113	—	2,395,113
セグメント利益 または損失(△)	1,017,101	△69,520	947,580	△293,780	653,800
その他の項目					
減価償却費	6,918	6,419	13,338	1,393	14,731

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△293,780千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(持分法損益等)

当社は関連会社等を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	277.56円	564.65円
1株当たり当期純利益金額	114.09円	120.24円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	112.60円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は2022年8月末において非上場であり期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2022年6月8日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 当社は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	342,276	422,054
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	342,276	422,054
普通株式の期中平均株式数(株)	3,000,000	3,510,206
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(数)	—	238,219
(うち新株予約権(株))	—	238,219
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権 2種類 (新株予約権 648個)	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。